※令和４年度以降入学生用

学校番号	T0315

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	（学）書道演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	自作教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・２年生の書道Ⅰの継続です。
・芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違い等を学びましょう。
・平仮名から入り、篆隷行草から楷書に至るまで様々な書体を体験し、筆の弾力を使いこなし、自分らしい文字を書くことが出来るようになることをめざします。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

（１）書写能力の向上を図り、主体的に表現するための書道の能力を身につけ伸ばす。
（２）書の美しさを感じとる鑑賞の能力を養い、書の伝統と文化についての理解を深める。
（３）書道の幅広い学習活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の知識・技能を身に付け表している。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	仮名	・仮名の美しさの学習	a：書道Ⅰの学習を踏まえて、平仮名と変体仮名の用筆、字形の取り方について理解を深めている。 b：書道Ⅰの学習を踏まえて、平仮名と変体仮名の用筆、字形の表現をしている。 c：書道Ⅰの学習を踏まえて、平仮名と変体仮名の用筆、字形の表現をしようとしている。	授業観察 レポート ワークシート 提出作品	授業観察 レポート ワークシート 提出作品	授業観察 レポート ワークシート 提出作品
2学期	書道の表現	・古典を生かした表現の学習	a：文字の大きさや配列など、紙面の構成を工夫し、表現に変化をつけた際にもたらされる効果について理解している。 b：表現したい言葉と表現したい感興に応じて、どのような技能や構成が必要となるかを理解し、作品への生かし方を構想し工夫している。 c：表現したい言葉と表現したい感興に応じて、どのような技能や構成が必要となるかを理解し、作品への生かし方を構想し工夫しようとしている。	授業観察 レポート ワークシート 提出作品	授業観察 レポート ワークシート 提出作品	授業観察 レポート ワークシート 提出作品
3学期	書道での表現	・書道で発表しよう	a：書道の基礎的な技能を身につけている。 b：身に付けた基礎的な能力を生かして表現を工夫し、発表している。 c：身に付けた基礎的な能力を生かして表現を工夫し、発表しようとしている。	授業観察 レポート ワークシート 発表	授業観察 レポート ワークシート 発表	授業観察 レポート ワークシート 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度